

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S08-03-01		
施設名	荒川授産場				
所在地	東尾久四丁目32番7号				
部課名	福祉部高齢者福祉課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成4年	550,000	0	0	550,000
増改築①	平成30年	38,263	0	0	38,263
増改築②					
併設施設	荒川区シルバー人材センター				
竣工年月日	平成4年12月25日		区職員	1人	その他
供用開始年月日	平成5年4月1日		職員数	1人	人
構造	RC造		階層	地上3階・地下1階	
面積	敷地面積		548.84㎡		
	延床面積		1088.52㎡ (うち授産場分534.92㎡)		
設置目的・経緯	高齢者や生活困難者に職業及び技能を提供するため				
関連部署	生活福祉課				
根拠法令等 設置条例	社会福祉法・生活保護法・荒川区立授産場条例・荒川区立授産場条例施行規則・要綱				
駐車場の状況	4台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	20台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	荒川区シルバー人材センター	期間	平成31年4月 令和6年3月	から まで	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 一般の企業に就職することが難しい高齢者や生活困難者に対し働く場所と仕事の提供を行う。 任意の高齢者団体等に対し、会議室の貸出を行う。 					
対象者	一般の企業で働くことができない60歳以上の高齢者及び低所得者					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後4時				
	休日	土曜日、日曜日、国民の祝日、お盆休み、年末年始				
施設基本データ等	年間場内利用者延人数 (人)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込み)
	年度末利用者数 (人)	215	207	205	205	183
	開所日数 (日)	18	16	17	17	15
	平均月額支払工賃 (円)	225	225	216	235	239
		40,276	36,721	37,180	21,568	30,095
に指定 用係等 管理 費	指定管理料 (千円)	17,394	16,949	17,474	17,063	18,305
	指定管理者の支出合計 (千円)	17,394	16,949	16,992	16,323	18,305
	指定管理者の人件費 (千円)	9,352	9,416	1,401	1,401	1,401
備考	30年度までの協定では人件費に授産場長と指導員分を計上していたが、令和元年度からの協定では指導員分を管理費として計上しているため、人件費が減っている。					

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
行政費用	物件費	17,488	17,077	▲ 411	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	438	3,592	3,154	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	23	23	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	15,953	15,953	0	その他	17,109	17,159	50	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	17,109	17,159	50	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 16,770	▲ 19,486	▲ 2,716	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	33,879	36,645	2,766	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 16,770	▲ 19,486	▲ 2,716	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 16,770	▲ 19,486	▲ 2,716		
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	固定資産	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
		有形固定資産	673,429	657,476	▲ 15,953	賞与引当金	0	0	0
		土地	486,446	486,446	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	590,858	590,858	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 403,875	▲ 419,828	▲ 15,953	特別区債	0	0	0
	工作物等	6,596	6,596	0	退職給与引当金	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	▲ 6,596	▲ 6,596	0	その他の固定負債	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	673,429	657,476	▲ 15,953		
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	673,429	657,476	▲ 15,953		
資産の部合計	673,429	657,476	▲ 15,953	負債及び正味財産の部合計	673,429	657,476	▲ 15,953		
備考	行政費用の物件費は指定管理料とAEDリース料である。内訳としては指定管理料に17,063千円、AEDリース料に14千円かかっている。維持補修費に計上されているのは3階トイレ自動ドア交換の家屋修繕費及び防火設備改修工事の工事請負費である。								

指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	68	66.0	69	71.4	-
	1㎡あたりコスト(円)	60,411	59,641	63,335	68,506	-
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	54	56	8	8.6	-
	開館1日あたりコスト(円)	143,622	141,791	156,847	155,936	-
	利用者1人あたりコスト(円)	150,302	154,121	165,263	178,756	-
備考	人にかかるコストの割合が減っているのは、令和元年度分からの協定で指導員分を管理費として計上しているためである。各コストが増えているのは、行政費用(主に減価償却費)の増額によるものである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	年度末利用者数(人)	目標値 21 実績値 18	21 16	18 17	18 17	18 15
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 民営化 ○ その他() ○ 他施設との統合 ○ 廃止					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○電気設備及び給排水設備等の老朽化が目立ってきている。 ○安定した作業工賃を確保するため、受注先の開拓に努める必要がある。 ○21人の定員枠で実施しており、今後増加する対象となる高齢者に対応しきれない可能性がある。また、シルバー人材センターとの役割分担の中で、あり方の検討が必要となっている。					
課題に対する現時点での考え	○施設の計画的改修を実施していく。 ○受注取引先との連絡を密接にするとともに、きめ細やかな納品スケジュールを組むなどにより、取引先の信頼を高める努力を続ける必要がある。 ○指定管理者と連携し、安定的な運営を図る必要がある。 ○他区の動向等を調査・検討し、方針を定める。					
議会、利用者等からの意見						

